

令和5年度 学校経営シラバス 北海道上士幌高等学校

スクールミッション

- 1 地域の高校として、地域の教育資源を活用した教育活動を通じて、地域の未来を創っていく生徒の育成
- 2 個々の生徒の特性等に対応した学習指導及びキャリア教育を通じて、主体的な進路の選択決定をするための資質・能力を身に付けた生徒の育成
- 3 「小さな学校の大きな挑戦」というスローガンのもと、地域に貢献できる人材育成を目標に地域に根ざす高校

スクールポリシー

1 育成を目指す資質・能力に関する方針

基礎となる学力やコミュニケーションの方法を身に付け、広い視野の下に学ぶことをめざした教育を進めています。それを通じて、課題を解決し、よりよい社会を創造する、的確な判断力とリーダーシップを発揮する人材を育成します。すなわち、本校は卒業生に対し地域を理解し、地域社会の未来に寄与する人材であることを求めます。こうした人材を育成するため、「自分の将来のために努力する力」「問題・課題を自ら解決する力」「自分の意見や考えを話し伝える力」を育成します。

2 教育課程編成及び実施に関する方針

上士幌高校では進路選択を適切に行えるよう1年生では基礎科目を重点的に学び、2・3年生では希望進路に適した教科選択をします。また、地域理解及び地域人材の育成を目的とし上士幌町関係機関と連携した「上士幌学」や1年生では必修科目、2年生では選択科目の「ベーシックスタディ」3年生選択科目の「社会教養」など、本校の生徒であれば当然身につけるべき基礎的な学力を育むことを目的とし編成、実施します。

3 入学者受け入れに関する方針

上士幌高校は十勝北部2間口普通科高校として、地域に根ざした地域に求められる学校を目指し、教育活動を通じて地域・社会に貢献できる人材育成を使命としています。そのため、上士幌高校では「学ぶ意欲のある生徒」を受け入れています。

校訓 敬愛 創造 自律

学校教育目標 未来を切り拓く人間性豊かな人を育てる

教育の指標

思いやりの心を持ち、自ら考え、自ら学び、自ら行動する人となる

育成すべき資質・能力

- ① 自分の将来のために努力する力
- ② 問題・課題を自ら解決する力
- ③ 自分の意見や考えを話し伝える力

学校経営方針

- 1 生徒の進路目標の実現に向けた教育活動を展開する。
- 2 地域に信頼され、地域とともにある学校づくりを進める。
- 3 全ての教職員が健康で働きがいを感じる職場環境の構築。

地域から本校への期待(R2~)

- ・自ら挨拶のできる生徒の育成 (主体性)
- ・地域への活動に積極的に参加する生徒の育成 (地域貢献)
- ・地域を学び、地域のために貢献できる生徒の育成 (郷土愛)

学校運営協議会(コミュニティ・スクール)

具体的な方策(長期 R2~)

- ①主要教科の習熟度別授業への移行(数・英)
- ②研修(校内外)による教科指導力の向上(研究指定)
- ③進学講習等の改善
- ④各種検定・資格などの上位級の合格者数の向上
- ⑤部活動など、地域人材の有効活用

具体的な方策(短期・中期 R2~)

- ①模試と関連した進学講習
- ②大学訪問などによる進学意識の醸成
- ③上士幌中学校との連携(出前授業、合同授業、授業成果発表など)
- ④地域貢献(生徒会・各部活動など)
- ⑤情報発信(学校公式サイト・生徒会・新聞局など)
- ⑥管理職・教諭による中学校訪問

めざす学校像(R2~)

- ・長期
 - 十勝管内北部小規模校の準進学校化
- ・短期・中期
 - 国公立・私立難関大学への進学実績の向上
 - 地域とともにある学校(園小中高連携)
 - 上高への上中生の進学率の増加
 - 部活動の活性化
 - 2間口の維持